

コロナ禍を嘆いてばかりいたくない・・・！コロナが終わったら、子ども達とたくさんたくさんつながりたい・・・！！そんな願いから、八つの雲に祈りを込めて、ユニホームをリニューアルしました。制作は調布美術研究所にお願いし、プロデュースとデザインはグラフィックデザイナー/映像ディレクターのlittle woody氏にお願いしました。ユニホームを着ている人を見つけたら、声をかけてくださるととってもうれしいです(^_-)-☆



のぼりも一新しました。来年こそは出店で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！！



2~4P 令和4年度調布市防災教育の日

目次

猛暑が続く今年にはさらに要checkです
猛暑が続くと水蒸気を含んだ空気が上昇し雲が発生！積乱雲となり、激しい雨を降らせます。
2022年夏、阿摩川や野川の氾濫も現実味を帯びています！
八雲台小は一次避難所です



4P 健康ウォーキング&まち歩き

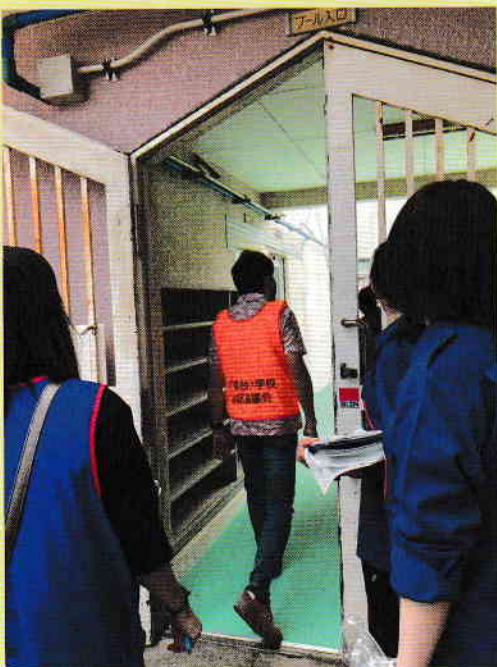
令和4年度 調布市防災教育の日

4月の第四土曜日にあたる23日に、「調布市防災教育の日」を市職員と教育委員会の方々と行いました。地域との協働訓練として、避難所として開放する手順や備品などの確認や情報の共有など、有意義な1日になりました。



市統一テーマが「感染対策を踏まえた避難所開設訓練」ということもあり、消毒液や体温計は「リーダーセット」として防災備蓄倉庫に置かれています。発熱等が見られた方は、要配慮者または発熱者等として、一般避難者とは違う教室等を使用します。

トランシーバー（職員室に常備）を活用した情報伝達訓練の実施。KDDIの通信障害の件もあり、災害時には特に重要なアイテムとなります。



添田会長もプール通路を視察しました。



ペットはプール通路へ！！

コロナ禍で、ペットの需要が増えているそうです。ペットのためにも近隣の方のためにも、同行避難をしましょう。また、日頃からペットのコロナ感染にも人と同じよう気を付けて、ペット避難所（プール通路）でクラスターが発生しないようにしましょう。

八雲台小は、学校であるだけでなく、自分の命に直結する場所なのだという認識を深め、自分がどう動くのかを理解し、自分がどうすべきなのかを想定して、何が備えられているのかを知り、いざという時に備えましょう。



八雲台小避難所担当リーダー
福祉健康部保険年金課 齊藤さん

事前の調査・下見を徹底的にしてくださっていました。倉庫の備蓄や最新の教室の配置図など、前もって整合性を確認し、地域住民や避難者へ還元しようとする姿勢に胸を打たれました。マニュアルも大切ですが、命がかかわるとき、一番必要なのは“人間力”なのだとあらためて教えていただきました。



ペットの同行避難

八雲台小のペットの同行避難所は、アレルギーがある方や動物が苦手な方に配慮して人とは違い、プール通路です。ペットの衰弱・死亡や繁殖による増加を防ぐため、同行避難は必要です。その時に備えて、日頃からしつけや健康管理、備品の準備をしておきましょう。

※一部防災安全課の資料より抜粋。



★QRコードより調布市からの詳細をcheck!してください。



地面から飲める
水が出るよ!!



※イラストはイメージです

応急排水作業～応急給水作業を行いました。災害による断水時にできるだけ早く応急給水を実施するため、東京水道局から応急給水用資機材を借り、蛇口をひねるだけで給水ができる給水栓などを備えています。



収納バッグの中にはこんな器具が入っています。

- ・スタンドパイプ
- ・接続金具
- ・排水用ホース
- ・蛇口アダプター
- ・蓋鍵
- ・採水用ホローカップ
- ・簡易水質検査キット
- ・開栓器



スタンドパイプ
(イメージ)

参加者が見守る中、職員さんがマニュアルで手順を確認しながら作業していきます。消防団OBの金子副会長も助っ人に入ります。さすが慣れています。



水が出ました!



きれいな水が出ようになったらホローカップに入れてシンプルキットで簡易水質検査をします。異常があった場合はもう一度排水作業をします。

キット付属の標準カラーチャートと比較し、残留塩素濃度を判定します。水質基準は「0.1mg/ℓ以上」です。



頑張ってくださいました
!(*°▽°*)

防災備蓄倉庫確認

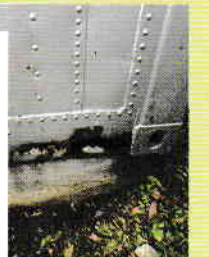
避難所開設初動期に使用する物品を中心に、格納場所の確認を行いました。

備蓄品一覧表

備蓄倉庫内区分図




倉庫内でねずみのフンが発見されています。これを受けて、地区協では市に改善を要請していきます。この日は、リーダー 齊藤さんの掛け声で、終了後、職員さんで倉庫の清掃をしてくださりました(´；ω；`)



ここから侵入しているようです。

避難所開設・受付訓練

① 備蓄倉庫扉裏面に貼り付けてある一覧表をもとに、必要資機材を防災備蓄倉庫から運びます。



② みんなで手分けしてブルーシートを敷きます。実際に座ったり、寝転がるとサイズ感が分かります。



消毒液と体温計もセットします。



ブルーシートに番号をふります。



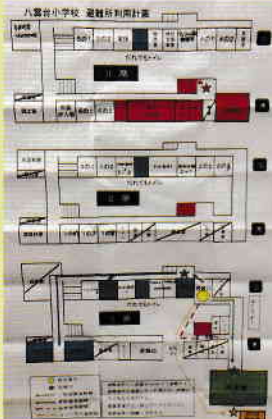
東側のベット避難所から2m空けて、8シート×9シートの計72シートが敷けます。



③ 運営役と避難者役に分かれて受付訓練をします。避難者名簿と健康チェックカードを配布し、通し番号を附番し、同じ番号のレジャーシートに案内されます。



小野校長先生も参加くださいました。



リーダーの進行により、みんなで意見交換をして今年度の「調布市防災教育の日」は終了しました。

以下、意見交換で出た意見です

- ・「最新の備品が表に反映されていない。」
- ・「備蓄倉庫の電気が点かないのは問題では？」
- ・「備品の表が最新のものになっていない。」
- ・「備品倉庫にねずみの糞がある。定期的な清掃が必要では？」
- ・「発熱者等、配慮が必要な人が3階まで移動するのは困難だ。無理です」
- ・「受付まではベットも同伴するようだが、アレルギーがある人に配慮し、受付時についても何かしら同室しない工夫したほうが良いのではないか？」
- ・「別紙対応職員名簿には、いざ有事の際、場合によってはリーダーが他の避難所に派遣されてしまう。それはおかしい。今回の訓練などで八雲台小の情報を地域の人々と共有し、きちんと理解してくれているリーダーが本番にいないというのは理解できない。」

避難所計画見取り図を見ながら受付や各避難場所をみんなで確認しました。

避難所利用計画が旧年度のままでということにリーダーが気づき、新クラスに書き直してくださいました。

5/1,6/5に健康ウォーキング教室&まち歩きを実施しました！



お気軽にご参加ください！

健康ウォーキング

野口祥子氏をお招きし、古武術の動きを取り入れたウォーキングの基礎を学びました。歩くのが驚くほどラクになります！

町あるき

5/1…三鷹駅跨線橋と玉川上水・太宰治展示見学に行きました。
9~12月…コロナ感染者数次第によりますが、ウォーキングのあと野川下流を歩く予定です♪ぜひご参加ください。

問合せ 090-2242-9749 梶井まで



学校や子ども達、地域の方々のご協力で、花の窃盗もなくなり、美しく、清潔に管理されています。地区協では定期清掃や植え付けなど、今年度も尽力してまいりますので、引き続き、ご協力お願い申し上げます。

今年度もコロナにより盆踊り大会が中止になり、子ども達と集えない夏となりました。さくら祭りこそは以前のように開催されることを祈りながら、災害や事故などに見舞われることなく、お会いできる日を、八雲台小地区協議会役員一同、心から楽しみにしています。

次回つながる誌の発行は12月を予定しています。

紙面作成・広報担当 千坂真衣

お問合わせ

yagumosyo@docomo.ne.jp